

「第9回 本明川流域減災対策協議会」 開催

本明川流域減災対策協議会では、社会全体で洪水氾濫に備える「水防災意識社会」を再構築するため、河川管理者、气象台、県、市等が連携・協力して本明川流域における洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進しているところです。

第9回協議会では、令和4年2月に策定した「本明川の減災に係る取組方針」について、今年度の取組状況を確認し、関係機関と情報共有を行いました。

1. 概要

- ・日 時： 令和7年1月30日(木)
- ・会 場： 諫早市役所、Web方式併用
- ・出席者： 諫早市、長崎県、長崎地方气象台、
本明川ダム工事事務所、長崎河川国道事務所



会議風景

3. 要旨

- ・「本明川の減災に係る取組方針」に基づく各機関における今年度の取組状況について確認を行った。
- ・今後も引き続き各機関が連携・協力していくことについても確認を行った。

2. 議事内容

- ①規約の改正について
- ②本明川の減災に係る取組みについて
- ③各機関の今後の取組みについて

住民等への情報伝達の体制や方法 本明川ダム工事事務所

防災施設(ダム、堤防等)の啓発、機能及び避難の必要性について広域へ周知

- 各地のイベントに、本明川ダムブースを設けてダム模型を使って説明を実施
- R6年度の実績：4回(本野地区夏まつり、土木のroadラン)

ダム模型

本明川ダムブースによるダムの説明風景

想定される浸水リスクの周知 長崎地方气象台

在留・訪日外国人に向けた防災情報の普及・啓発【継続実施】

在留・訪日外国人の方が防災気象情報を理解し、安全な避難行動に結びつけるための各種言語のポインタ解説コンテンツ等を作成・提供することで、外国人の方々を支援し、地域全体の防災力を向上させることを目的とする。

現在提供中の外国人向け情報(赤字は前四報告時より追加)

- 電子コンテンツ(長崎地方气象台HPに掲載中)
 - ・天気予報、気象警報・注意報、千キロ1-4が迅速で表示可能
 - ・千キロ紹介動画(新しい日本語での説明)
- リーフレット(長崎地方气象台HPに掲載中)
 - ・WEBサイト利用説明リーフレット
 - 「天気(てんき)をスマートフォンでみてみよう」
 - ・日本語(ふりがな付き)
 - ・気象情報解説リーフレット
 - 「大雨の時の安全な避難行動のために」
 - ・日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、ベトナム語、韓国語、インドネシア語、タイ語、ヒンディー語
 - ・地図・ポスターリーフレット(日本語版及び英語版)

QRコード

左の二次元コードからアクセスしてみてください！

URL: <https://www.jma-net.go.jp/nagasaki/c/kikkuru/kikkuru.html>

想定される浸水リスクの周知 長崎県

水害リスク情報提供区域の解消

○水害リスク情報の提供されていない県道(本明川水系においては35河川)について、浸水想定区域図(想定最大規模)公表に向けた検討を実施。

本明川水系において35河川で浸水想定区域図を令和6年6月21日告示

避難場所・避難経路の確保 諫早市

○まるとまことハザードマップの作成(R6年度中予定)

○生活空間であるまるとまに浸水のリスクを表示して自然に目に入るようにすることで、平常時から水防への意識を高め、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目指す。

【まるとまことハザードマップ】

【想定浸水深表示看板】

想定浸水深

3.0m

※材料：アルミ板(500mm×1000mm)×2枚、カプセル付(5mm×10mm)×2枚、透明インク、マジック

※設置場所：まるとま小学校校舎

※設置時期：令和6年7月1日(水)

※設置場所：まるとま小学校校舎、まるとま小学校校舎、まるとま小学校校舎